

小学校、中学校の先生方、そして英語教育にご関心をお持ちのお父さん、お母さんへ



## 英語活動シンポジウム

# 今何が起きているの？

＝小学生・中学生にとって「これからの英語の勉強」とは＝

小学校で英語の時間が始まり、英語を身近で楽しめるようになりました。この英語体験は、中学校へ、どのように継続しているのでしょうか。聞いたり、話したりを楽しんでも、文法、書くこと、読むことは、どうするのか、疑問もでできます。民間の英語教育機関ではどうなのでしょう。

英語を学ぶのは子ども自身です。子どもの成長に伴う指導が必要ですし、家庭の協力も必要です。今回、成田市内の小学校、中学校、そして、民間団体で英語を教えている先生方に現状を報告していただき、今後の英語教育について考えていく機会をもつことにいたしました。

小学校、中学校の先生方、そして英語教育に関心をお持ちの方々、小学生、中学生の保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時： 8月26日(日) 13:00～15:30

場 所： 成田国際文化会館 国際会議室(定員：140名)

[\*成田イオンショッピング向かい側]

参加費： 500円(資料代として)

パネリスト： 笹本 紀子(成田市立成田小学校教諭・英語担当)

福永 勝利(成田市立中台中学校教諭・英語担当)

今来 弓子(ラボ・テューター)

コメンテーター： 和田 稔(明海大学教授・英語教育)

田島 信元(白百合女子大学教授・発達心理学)

主 催： 英語活動シンポジウム実行委員会

後 援： 成田市教育委員会、成田市国際交流協会、香取市教育委員会、

印西市教育委員会、鹿嶋市教育委員会、

(財)ラボ国際交流センター

協 力： ラボ教育センター



お申し込みとお問い合わせ：

TEL & FAX 0476-26-4066 今来 弓子(いまき ゆみこ)

お申し込みは下記にご記入のうえ、ファックスをお願いします。

お電話でもけっこうです。(留守の場合はお名前と連絡先を録音しておいて下さい。)

締め切り 8月20日(月)

\*\*\*\*\*

シンポジウム実行委員会 行き

英語活動シンポジウム 参加申込書

参加者のお名前

ご連絡先

・このシンポジウムを何でお知りになりましたか？

・シンポジウムに期待することをお書きください

# Symposium

英語活動シンポジウム「今 何が起きているの？」

## パネリスト紹介

福水 勝利（ふくなが かつとし）

大学卒業後、千葉県立成田園芸（現、成田西陵）高等学校、成田国際高等学校にて英語を担当。2006年より現職。成田国際高校ではスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHi）の研究に携わる。1999年より成田小学校の英語教育にも係わりを持ち、成田市の一般社会人向け開放講座の講師も長年にわたって務めた。

笹本 紀子（ささもと のりこ）

一昨年より成田小学校教諭。2年間学級担任として英語科学習に関わり、現在はJTE（日本人英語教師）の役割を勤め、1年生の英語を担当している。自分の思いを伝えながら、楽しい授業になるよう奮闘中である。成田小学校では、文部科学省の研究開発校の指定を受け、10年以上にわたり、英語科学習の研究を行ってきた。

今来 弓子（いまき ゆみこ）

1977年、成田市でラボ・パーティを始める。2歳から高校生まで40名でラボ活動を行っている。子供たちのホームステイ引率のため、アメリカ、カナダ、イギリス、ニュージーランドに同行。多数の子供たちをホームステイへ送っている。成田市のボランティア活動にも参加している。

[ラボ・パーティは ラボ教育センターのもと、1966年3月に発足し、翌4月に発足した東京言語研究所(初代運営委員長は服部四郎先生・当時東京大学教授。1983年、文化勲章受章)と同時に構想されたもの。ラボ・パーティの指導者がラボ・テューター。子どもの自主性を大事にしながらサポートしていくという意味で tutor と称し、Labo tutor は全国でラボ教育活動をすすめている。]

## コメンテーター紹介



和田 稔（わだ みのる）

明海大学教授。専門は英語教育学。1960年千葉県の高校教師となり、79年千葉県教育センター研修主事、80年千葉県教育委員会指導主事を経て、82年（旧）文部省初等中等教育局教科調査官。92年より現職。この間、米国テンプル大学大学院でTESL/TEFLのMA(修士号)を取得。小学校英語教育をはじめ、中学校、高校を含めた英語教育全般について積極的な提言を行っている。著書に「国際交流の狭間で」、『早期英語教育』、"Studies in Team Teaching"、編著に「オーラル・コミュニケーションの指導と評価」等。

田島 信元（たじま のぶもと）

白百合女子大学教授、東京外国語大学名誉教授。博士（人間科学）。専攻は発達心理学。財団法人ラボ国際交流センター評議員。北海道大学教育学部附属乳幼児発達臨床センター（北大幼児園）にて研究のため、10年間子供たちの保育にあたりるとともに、日本国内および海外のさまざまな幼児教育プログラムを検討。乳幼児の発達についての研究を長年続ける。主な著書に『子どもの発達心理学』『育つ力と育てる力』『小学生のわが子を英語好きにする本』『共同行為としての学習・発達』等。

# Symposium